

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 大
 コード番号 6338 URL http://www.takatori-g.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高鳥 王昌 (TEL) 0744 (24) 8580
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大西 正純
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	2,863	22.9	21	-	49	-	40	-
21年9月期第3四半期	2,329	-	△435	-	△398	-	△563	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	7	41	-	-
21年9月期第3四半期	△103	10	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	7,417	5,134	5,134	5,134	69.2	940	24	
21年9月期	7,501	5,092	5,092	5,092	67.9	932	57	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 5,134百万円 21年9月期 5,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
21年9月期	-	-	0	00	-	-	0	00	
22年9月期	-	-	0	00	-	-	-	-	
22年9月期(予想)	-	-	-	-	-	5	00	5	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有・無

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,150	28.8	103	-	134	-	120	-	21	97

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有・無

② ①以外の変更：有・無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	5,491,490株	21年9月期	5,491,490株
22年9月期3Q	30,719株	21年9月期	30,634株
22年9月期3Q	5,460,834株	21年9月期3Q	5,460,875株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業績の変化等により上記予想数値とは異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社が関わる電子部品業界においては、LED市場や半導体市場での設備投資が活発化しており、市況は回復してきております。

このような業界動向のもと、当社の売上高は電子機器事業では、液晶機器事業は低調に推移いたしました。MWS（マルチワイヤーソー）事業がLED市場向けを中心として堅調に推移し、半導体機器事業もデバイスメーカー等の設備投資が活発化し、設備投資を再開し始めている影響から回復いたしました。

繊維機器事業は低調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は28億63百万円（前年同四半期比22.9%増）、営業利益は21百万円（前年同四半期は営業損失4億35百万円）、経常利益は49百万円（前年同四半期は経常損失3億98百万円）、四半期純利益は40百万円（前年同四半期は四半期純損失5億63百万円）となりました。

また、MWS事業の研究開発活動において、下記の2件が国家プロジェクトとして採択され当社が委託先として採択されました。

①経済産業省「平成22年度低炭素社会を実現する新材料パワー半導体プロジェクト」に係わる委託先として採択されました。当該プロジェクトは、産官学の研究者が一体となって、革新的手法を取り入れた大口径・高品質・低コストのSiCウェーハ（基板）製作技術の確立、および低炭素社会に向けたSiC高耐圧パワースイッチングデバイス製作技術の開発を主な目的としています。

②経済産業省「平成22年度戦略的基盤技術高度化支援事業」に係わる委託先として採択されました。当該プロジェクトは、奈良工業高等専門学校との連携により、マルチワイヤーソーの高剛性化と、ワイヤーの振動及びワークの熱変形の抑制を行い、サファイアウェーハの大口径・高精度・低コスト化を可能とする切削加工技術を確立することを主な目的としています。

事業部門別の状況は、次のとおりであります。

【電子機器事業】

売上高は26億71百万円となりました。

各事業の概況は次のとおりであります。

① 液晶機器事業

液晶業界においては、海外における大型液晶パネルに対する設備投資が本格化し始めた動きが見受けられ、業界全体に回復の兆しが見え始めていますが、国内メーカーにおいては第2四半期から引き続き、景気の先行き不透明感は依然として根強く、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、海外の受注実績は得たものの、全体的な売上高は低調に推移いたしました。

② 半導体機器事業

半導体業界においては、国内外ともにパソコンや携帯端末等の需要が大幅に回復し、デバイスメーカーの生産量が再び活況を呈したことに伴い、装置需要は回復へ向かいつつあります。

このような状況下、設備投資の促進と新プロセス用途としての新規設備の需要が第2四半期より引き続き増加した影響により、売上高は堅調に推移いたしました。

③ MWS（マルチワイヤーソー）事業

マルチワイヤーソーの主要ユーザーである電子部品業界全般においては、国内における受注は第2四半期から引き続き低調に推移いたしました。海外においてはLED市場向けを中心に需要の拡大が続いたことが売上高に貢献いたしました。

このような状況下、売上高は堅調に推移いたしました。

【繊維機器事業】

売上高は1億92百万円となりました。

アパレル業界においては、一部のユーザーで新製品の自動裁断機の設備投資が行われ、景気悪化に一部取り下げの動きも見られましたが、全体的には依然として継続的な不況の影響により、設備投資を延期・凍結する傾向が見られました。

このような状況下、新素材用の裁断機の受注を得たものの、売上高は低調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における「資産合計」は、売上債権及びたな卸資産が増加いたしました。現金及び預金が減少したこと等により、前期末に比べ84百万円減少し74億17百万円となりました。

また「負債合計」は、買掛金及び前受金が増加いたしました。長期借入金を完済したこと等により前期末に比べ1億25百万円減少し22億83百万円となりました。「純資産合計」は、前期末に比べ41百万円増加し51億34百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末におけるキャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物は6億30百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加4億50百万円及び前受金の増加等によるその他の流動負債の増加5億79百万円がありました。売上債権の増加1億93百万円、たな卸資産の増加8億16百万円があったこと等により1億6百万円のキャッシュ・イン（前年同四半期は4億51百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の純減による収入が23百万円あったこと等により2百万円のキャッシュ・イン（前年同四半期は13億25百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が12億13百万円あったこと等により12億16百万円のキャッシュ・アウト（前年同四半期は12億35百万円のキャッシュ・イン）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点での業績予想につきましては、平成21年11月13日に発表いたしました予想数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

影響額が僅少なものについては一部簡便な手続きを行っております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,410,652	2,543,417
受取手形及び売掛金	835,651	642,479
製品	637,691	172,239
仕掛品	733,664	434,927
原材料及び貯蔵品	128,718	76,202
その他	120,803	54,540
流動資産合計	3,867,182	3,923,805
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	805,631	823,181
その他（純額）	732,691	731,285
有形固定資産合計	1,538,323	1,554,466
無形固定資産		
	27,966	35,512
投資その他の資産		
関係会社株式	1,091,692	1,091,692
長期預金	840,000	840,000
その他	52,265	56,114
投資その他の資産合計	1,983,958	1,987,806
固定資産合計	3,550,247	3,577,785
資産合計	7,417,430	7,501,591
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,302,054	851,945
1年内返済予定の長期借入金	—	279,912
未払法人税等	5,869	4,677
賞与引当金	29,374	—
その他	847,627	244,927
流動負債合計	2,184,925	1,381,462
固定負債		
長期借入金	—	933,480
役員退職慰労引当金	71,736	71,736
その他	26,340	22,280
固定負債合計	98,077	1,027,496
負債合計	2,283,002	2,408,959

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,831,787	2,791,303
自己株式	△17,117	△17,070
株主資本合計	5,130,221	5,089,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,205	2,846
評価・換算差額等合計	4,205	2,846
純資産合計	5,134,427	5,092,632
負債純資産合計	7,417,430	7,501,591

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,329,476	2,863,466
売上原価	1,966,698	2,039,125
売上総利益	362,778	824,340
販売費及び一般管理費	798,144	802,516
営業利益又は営業損失(△)	△435,366	21,823
営業外収益		
受取利息	6,407	7,749
受取賃貸料	7,366	7,354
助成金収入	28,547	7,450
その他	7,634	9,679
営業外収益合計	49,955	32,232
営業外費用		
支払利息	6,565	1,093
租税公課	—	1,564
その他	6,283	2,054
営業外費用合計	12,849	4,712
経常利益又は経常損失(△)	△398,260	49,344
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,931	—
固定資産売却益	—	1,955
特別利益合計	7,931	1,955
特別損失		
固定資産売却損	—	252
固定資産除却損	125	3,821
投資有価証券評価損	—	4,143
特別退職金	123,278	—
特別損失合計	123,403	8,217
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△513,733	43,081
法人税、住民税及び事業税	9,939	2,597
法人税等調整額	39,345	—
法人税等合計	49,284	2,597
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△563,017	40,483

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	506,156	1,005,510
売上原価	502,431	747,495
売上総利益	3,724	258,014
販売費及び一般管理費	296,458	264,749
営業損失(△)	△292,733	△6,734
営業外収益		
受取利息	2,558	2,515
受取賃貸料	2,436	2,424
助成金収入	28,547	—
その他	3,409	2,786
営業外収益合計	36,951	7,726
営業外費用		
支払利息	3,448	—
為替差損	—	3,821
その他	1,768	884
営業外費用合計	5,216	4,705
経常損失(△)	△260,998	△3,714
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,931	—
投資有価証券評価損戻入益	4,273	3,683
関係会社株式評価損戻入益	494,994	—
特別利益合計	507,200	3,683
特別損失		
固定資産除却損	—	181
投資有価証券評価損	—	4,143
特別損失合計	—	4,325
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	246,201	△4,355
法人税、住民税及び事業税	8,176	823
法人税等合計	8,176	823
四半期純利益又は四半期純損失(△)	238,025	△5,178

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△513,733	43,081
減価償却費	79,506	79,938
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	77,817	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△108,620	29,374
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	252	—
関係会社投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△102,389	—
受取利息及び受取配当金	△6,931	△8,145
支払利息	6,565	1,093
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,330	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,702
有形固定資産除却損	125	38
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,143
売上債権の増減額 (△は増加)	749,475	△193,172
たな卸資産の増減額 (△は増加)	327,399	△816,704
仕入債務の増減額 (△は減少)	△679,184	450,109
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	—	579,097
その他	△147,935	△64,147
小計	△315,321	103,003
利息及び配当金の受取額	6,130	9,484
利息の支払額	△7,745	△1,093
法人税等の支払額	△134,196	△4,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	△451,132	106,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△943,400	△780,000
定期預金の払戻による収入	—	803,480
長期預金の預入による支出	△840,000	—
有形固定資産の取得による支出	△24,522	△25,871
有形固定資産の売却による収入	—	2,262
無形固定資産の取得による支出	△17,649	△265
有価証券の償還による収入	500,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,875	△1,869
投資事業組合からの分配金による収入	2,368	3,061
出資金の払戻による収入	—	1,699
その他	20	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,325,059	2,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,400,000	—
長期借入金返済による支出	△116,630	△1,213,392
リース債務の返済による支出	△1,369	△2,546
自己株式の取得による支出	△14	△47
配当金の支払額	△46,958	△814
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,235,026	△1,216,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,506
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△541,165	△1,109,284
現金及び現金同等物の期首残高	1,834,982	1,739,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,293,817	630,652

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

事業部門別	前四半期 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当四半期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
電子機器事業	1,692,824	85.6	3,401,596	94.0	2,493,638	88.4
繊維機器事業	284,504	14.4	216,497	6.0	326,823	11.6
合計	1,977,328	100.0	3,618,094	100.0	2,820,461	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

事業部門別	前四半期 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当四半期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
電子機器事業	1,539,989	996,355	3,796,358	2,659,755	2,928,559	1,534,465
繊維機器事業	148,556	24,953	361,836	200,959	197,442	31,520
合計	1,688,545	1,021,309	4,158,194	2,860,714	3,126,001	1,565,986

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

事業部門別	前四半期 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当四半期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	1,968,722	84.5	2,671,068	93.3	2,819,182	87.5
繊維機器事業	360,754	15.5	192,397	6.7	403,073	12.5
合計	2,329,476	100.0	2,863,466	100.0	3,222,255	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前四半期 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)		当四半期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)		前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
アジア・オセアニア	1,042,293	88.2	1,314,364	86.0	1,557,658	91.2
北米	108,232	9.2	200,196	13.1	116,273	6.8
欧州	30,562	2.6	13,247	0.9	34,859	2.0
その他の地域	—	—	193	0.0	—	—
合計	1,181,088 (50.7%)	100.0	1,528,001 (53.4%)	100.0	1,708,791 (53.0%)	100.0